

長崎県漁業信用基金協会

1.長崎県の紹介

皆さんは長崎と聞いて何を想像するでしょうか？カステラ、ちゃんぽん、長崎くんち、ハウステンボス、福山雅治…といったところでしょうか。

長崎県は九州の北西端に位置し、人口は約132万人。五島列島、壱岐、対馬など多くの島嶼を抱え、47都道府県の中で最も島が多い県で、海岸線の長さも北海道に次ぎ全国第2位となっています。

鎖国時代に日本で唯一海外との窓口となっていた長崎、西洋や中国などの影響を受けた独特な文化を形成する一方、キリスト教禁教という厳しい弾圧の中、密かに信仰を守り続けたその文化が「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」として世界文化遺産に登録されたのは記憶に新しいところです。

また、長崎は三菱の創業地としても名を馳せ、世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」として全国8県11市に所在する23の構成資産の中には、三菱長崎造船所のジャイアント・カンチレバークレーンや端島炭鉱(軍艦島)など長崎市内の8か所が含まれています。

そして中国の旧正月の期間(2020年は1月下旬から2月上旬)に長崎で盛り上がるのが「長崎ランタンフェスティバル」です。ランタンとは中国提灯のことで、新地中華街を中心に市内に約1万5千個のランタンや大小様々なオブジェが飾られ、龍踊り、中国獅子舞など本場の催しが行われます。大勢の観光客が来崎し、



長崎の冬の一大風物詩として定着しました。

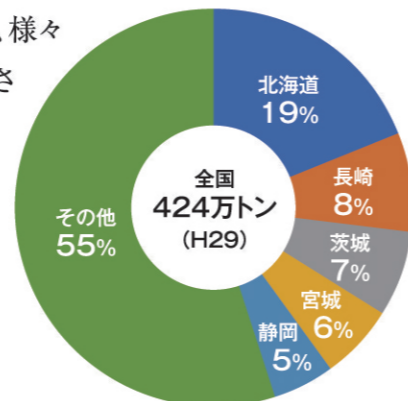
しかし何よ

り私たちが携わる水産業を忘れてはなりません。

本県は、広大な大陸棚を有する東シナ海及び東シナ海・日本海を繋ぐ対馬海峡に面し、数多くの島嶼・半島から形成されており、様々な魚種が四季折々に来遊するなど、多くの魚介類に恵まれています。そのため、アジ類・イワシ類・ブリ類・イカ類を主な魚種とする沿岸漁業やトラフグ・クロマグロなどの魚類・カキなどの貝類を中心とする海面養殖業、さらには以西底引き網、大中まき網など沖合漁業も盛んに行われており、生産量・生産額ともに北海道に次ぎ全国第2位となっています。

一方で、近年は漁獲量は横ばいで推移しているものの、魚価安、漁業就業者の減少や高齢化など、水産業を取り巻く環境は厳しい状況にあります。このため長崎県では、平成28年3月に策定した「長崎県水産業振興基本計画」に基づき、収益性の高い魅力ある経営体の育成、浜・地域の魅力を生かした水産業の活性化と就業者確保、国内外での販路拡大と価格向上、漁業生産を支える豊かな漁場・安全で快適な漁村の環境整備を基本目標に掲げ、様々な施策が展開されておりますが、

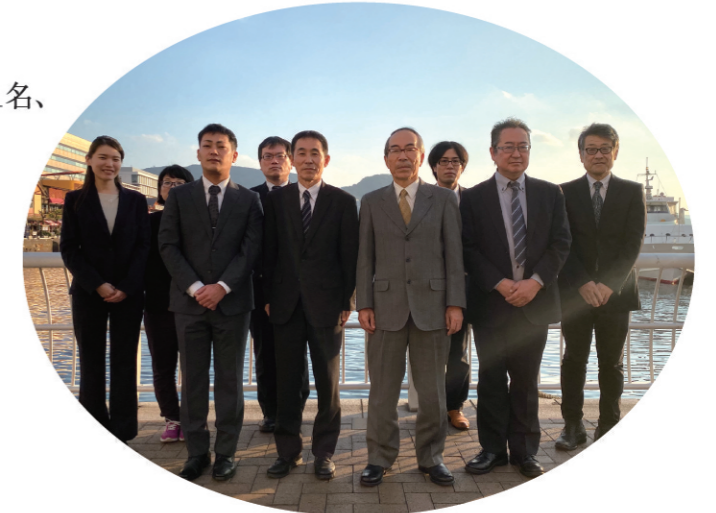
本協会も金融支援面からその一翼を担っています。



海面漁業・海面養殖の生産量

2.長崎県漁業信用基金協会の概要

- ◎ 住所 長崎市元船町17番1号 長崎県大波止ビル2階
 - ◎ 電話番号 095-823-8171
 - ◎ 代表者 理事長 志岐 富美雄
 - ◎ 役員数 14名
(常勤理事1名、非常勤理事11名、非常勤監事2名)
 - ◎ 会員数 565名
 - ◎ 基金等現在高等 3,999百万円
 - ◎ 保証残高 13,626百万円
 - ◎ 職員数 8名
- (平成31年3月末現在)



長崎県協会の役職員の皆さん

3.長崎県漁業信用基金協会の活動

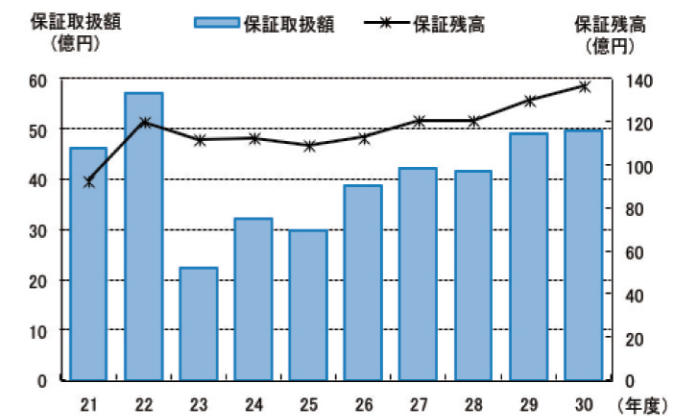
保証等業務の推進にあたっては、地区内漁業の現状確認などの浜廻りはとても重要です。離島部においては、飛行機や船を乗り継ぎレンタカーによる長時間移動など離島ならではの大変さもありますが、都会では味わえない癒しを感じる楽しさもあります。

本協会では、これまで漁業者等の立場に立って系統金融機関との協議のもと、融資と保証の審査内容を合わせることで審査期間の短縮を図るとともに、信用情報機関を利用した生活資金の保証、保証人免除などの保証条件緩和措置など本県独自の取組みを行ってまいりました。平成21~22年度の国の緊急保証対策事業終了による落ち込みは見られるもののリース事業等新たな支援施策の効果もあり過去10年間の保証残高等は、概ね増加傾向で推移しております。

平成30年度からは、3か年の第8次中期事業推進計画を策定し、国の水産政策の改革に基づく漁

業者の所得向上を支援する保証としての役割を果たすべく取り組んでいます。

現在、漁協系統金融機関である信漁連の統合が検討されておりますが、利便性の高い保証の提供に向け、金融機関はもとより全国漁業信用基金協会等とも一層の連携を図りながら、今後とも公的保証機関としての役割が果たせるよう役職員一丸となって努めてまいります。



過去10年間の保証取扱額、保証残高の推移